

2017年10月25日（水）

## 6年生「AB組 いざ 鎌倉」



社会科の学習として鎌倉に行って来ました。

平安時代 源氏と平氏の間で多くの合戦を交えた後、源頼朝が【1192年（いいくに）または、1185年（いいはこ）でも指導しています。】

鎌倉の地（三方が山で、前方が海という土地＝要塞都市）に、どうして幕府を開いたのかを、歩いて学んできました。武蔵野東中学校2年生で実施している、京都・奈良学習（東大寺の大仏見学など）にも繋げる意味もあります。

鎌倉駅前でバスから江ノ電に乗り換えて、極楽寺駅へ。極楽寺坂切通しを通り、成就院の空海（弘法大師）像を見た後、大仏（高德院阿弥陀如来座像）へ足を運び、螺髪（らほつ）の数は656個、与謝野晶子の歌碑などを確認してきました。



昼食後には、佐助稲荷神社と銭洗い弁天へ。銭洗い弁天では、ザルに入れて洗ったお金を使って絵馬を書いたり、おみくじを引いたり、お守りやお土産を買ったりと有効活用していました。

若宮大路の段葛を歩き、最終目的地の鶴岡八幡宮に向かいました。

源平合戦の最中に、頼朝が源氏の勝利を願って造らせていた、源氏池（島が3つ＝「産」＝発展の意 白い蓮）平家池（島が4つ＝「死」＝滅亡の意 紅い蓮）を見て、体育祭などでの紅白の戦いの原点を確かめました。

手水舎にて、手・口などを清めることも体験し、歴史学習を通じて実りある1日になりました。



今後の授業では、事後学習としてしっかりとまとめていきたいと思います。